

YKK

AP[®]

施工説明書

No. XAAAA-K20-532S1 02

'20-4月発行

かんたん

ドアリモ

浴室ドア

折戸

アタッチメント枠 四方枠

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は、「かんたん ドアリモ 浴室ドア 折戸 アタッチメント枠 四方枠」の施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず施工される方にお渡しください。お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。
- 商品購入前の取り付け可否、注意事項、商品手配における事前確認などの説明については、カタログ内に記載の「現場調査マニュアル」を参照してください。

本書内の表記

- 商品の施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の施工を行ってください。

警告／注意／お願い

表 記	意 味
 警 告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注 意	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
お願い	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

その他の表記

表 記	意 味
 ご注意	作業上の注意していただきたい内容を示しています。
 Check	確認していただきたい内容を示しています。
 シーリング	必ずシーリングを行っていただきたい箇所を示しています。

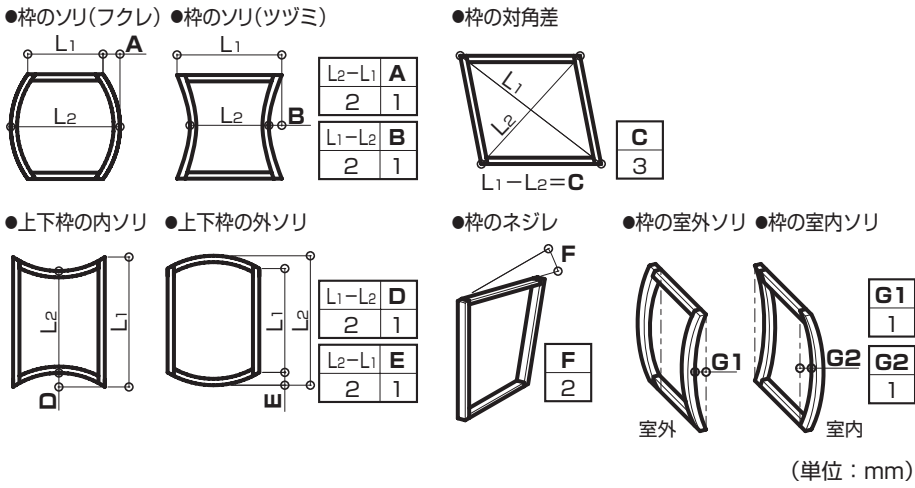
安全にお取り扱いいただくために

 注 意

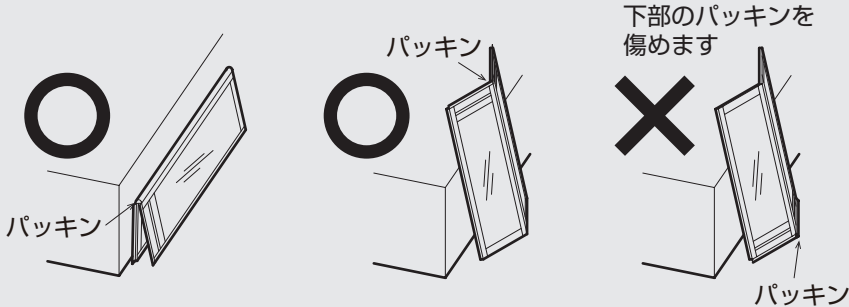
- 施工は、所定のねじを使用し、最後まで締め付けてください。締め付け不良は、漏水や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本説明書記載以外の組み立て、加工、施工など、改造を行わないでください。性能に影響を及ぼすおそれがあります。
- 商品周辺の防水処理は必ず行ってください。
- 取り付け開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
- 取り付け開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- シーリング材は防カビ入りを使用してください。
- 電動ドライバー、エアドライバーを使用する際は、締め付け過ぎると、ねじが空回りすおそれがあります。
- 電動ドライバー・エアドライバーを使用する際は、適正トルクでねじ留めしてください。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。2.ON・m (20 k g f・cm)

お願い

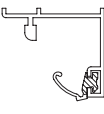
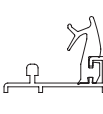
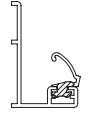
- 設置完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 障子に照明などの熱源を近づけないでください。面材や部品等が変形する場合があります。
- 枠取り付け精度について
枠取り付け精度が下記寸法以下になっていることを確認してください。下記寸法を超えると、障子の脱落のおそれや水密性が悪くなります。

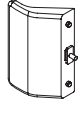
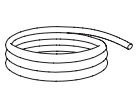
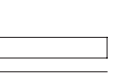


- 作業を行う際は、作業に適した服装で、保護具（保護帽、安全帯、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
- 商品表面にキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤溶液(1～2%の水溶液)を使用してください。酸・アルカリ・塩素系の洗剤液を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 折戸の下部にはパッキンが付いています。パッキンの損傷防止のため、はずした折戸は、横置きまたはパッキンが上になるように、たて置きしてください。



同梱一覧

番 号	①	②	③	④	⑤
姿 図					
品 名	上枠 アタッチメント	下枠 アタッチメント	たて枠 アタッチメント	引手	引手ホルダー セット
品 番	—	—	—	2K-81956	2K-37642
個 数	1	1	2	1	1
備 考	AT材付	AT材付	AT材付	浴室側	浴室側

番 号	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
姿 図					
品 名 (単位：mm)	引手	皿タッピンねじ (φ4×16)	バックアップ材	スペーサー	スペーサー
品 番	2K-34737	EF-4016D6	K-25831	2K-27148	K-22228
個 数	1	16	1	12	32
備 考	脱衣室側	アタッチメント 取り付け用	φ8mm×8m	t=1.5mm	t=7mm

施工に使用する工具

巻尺	直尺	アルミスタッフ ※1	差し金	下げ振り
水準器	ドライバー(手回し)	電動ドリル	ドリル刃	ポンチ
シーリングガン	ヘラ	ペンチ	カッター	アクリルカッター
はさみ	金ノコ	ディスクグラインダー	切断機	ヤスリ
振動ドリル	かなづち・木づち	当て木	フレキシブルビット ※2	セーバーソー(推奨)

※1：一人作業や内法測定に適しています。

※2：納まりによって狭い場所にねじを打つ必要がある場合に使用します。

施工に使用する別途手配品

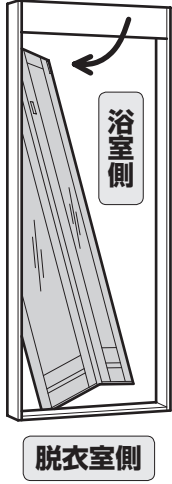
- Check

・既設枠との取り合いにより、同梱部品のねじ長さがあわない場合やスペーサーが不足する場合は、別途手配してください。

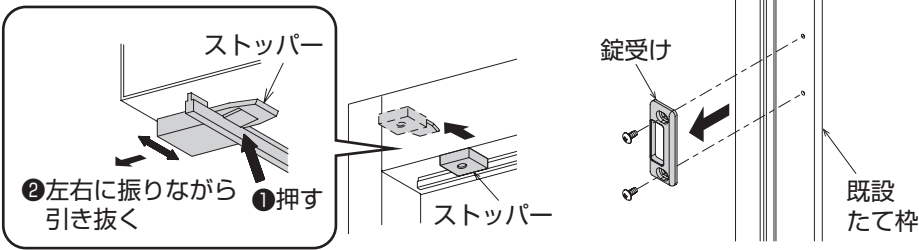
スペーサー(飼木)	施工調整スペーサー(平板) YS 2K-29658(厚さ0.5) YS 2K-29621(厚さ1) YS 2K-29622(厚さ3) YS 2K-29623(厚さ5)	シーリング材 防カビ入り	気密・防水テープ	バックアップ材
マスキングテープ	プライマー	調整ライナー YS BS-PUH41(厚さ1・ホワイト) YK BS-PUH42(厚さ2・ブラック) YW BS-PUH43(厚さ3・ホワイト) YK BS-PUH44(厚さ5・ブラック)	施工調整スペーサー YS 2K-30389 (厚さ1.5・6枚束)	

既設障子の取りはずし

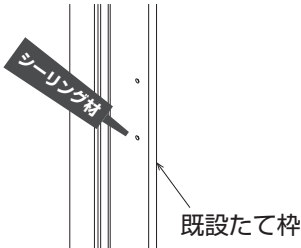
1. 既設の障子を持ちながら、浴室側へ倒して取りはずしてください。



2. 既設枠に付いているストッパー、錠受け、丁番などをはずしてください。



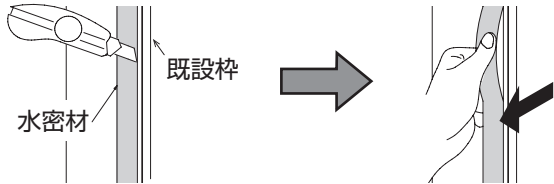
3. 部品を取りはずしたねじ穴にシーリング材を充てんしてください。



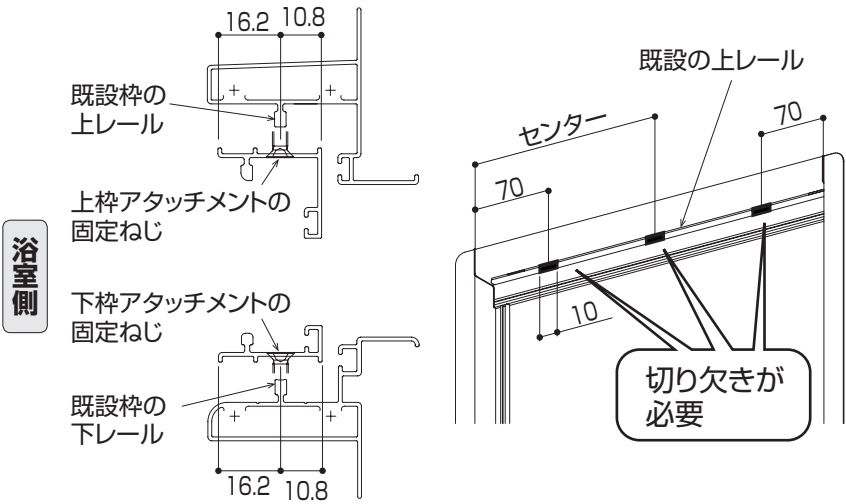
4. 既設枠に付いている水密材をはずしてください。

- ①ポイント

・水密材の端部にあるかしめや接着剤に切り込みを入れ、引き抜くと取りやすくなります。



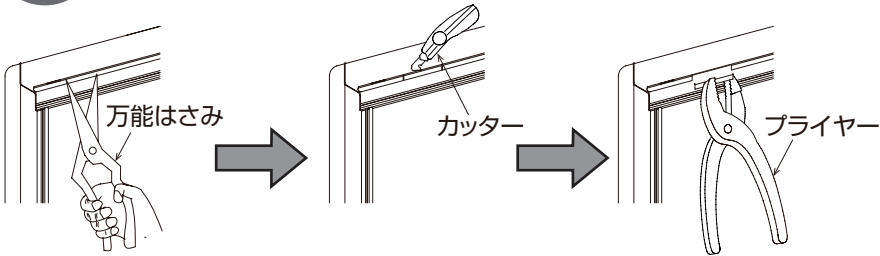
5. 新設上下枠の固定ねじと既設上下枠の上下レールが同じ位置の場合は、ねじが固定される部分の上下レールを切り欠いてください。
(上下レールが同じ位置でない場合は作業不要です)



(単位：mm)

- ②ポイント

・アクリルカッターや万能はさみ、プライヤーで切り取り可能です。



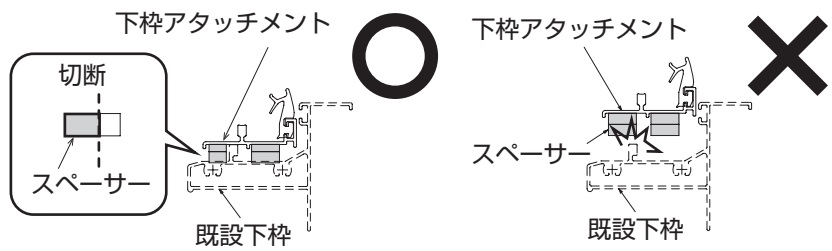
6. 既設枠を中性洗剤（1～2%の水溶液）で清掃してください。

アタッチメント枠の仮固定

スペーサーの取り付け

お願い

- 既設枠のレールとスペーサーが干渉する場合は、スペーサーを必要に応じて切断し、調整してください。

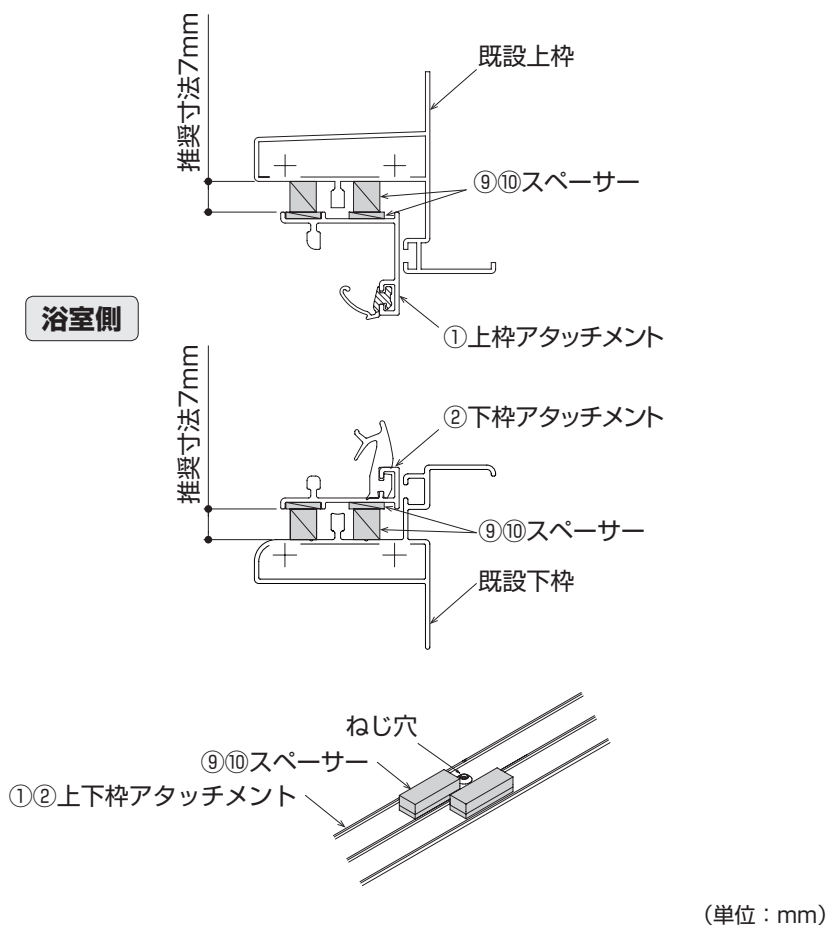


- 転倒防止のため、ねじ穴横にバランスよくスペーサーを貼り付けてください。



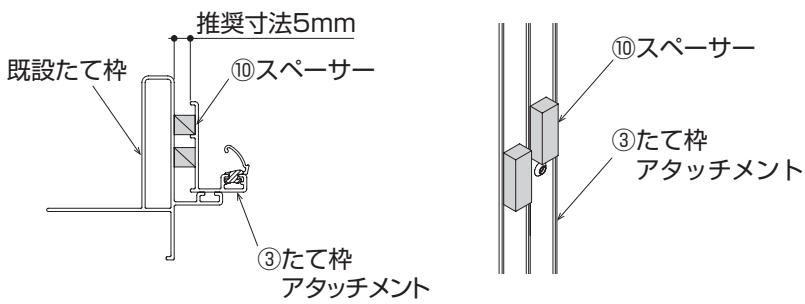
- レールの転び防止のため、見込み方向にもスペーサーを貼り付けてください。

- 既設下枠を基準にし、上下枠アタッチメントにスペーサーを貼り付けてください。



(単位：mm)

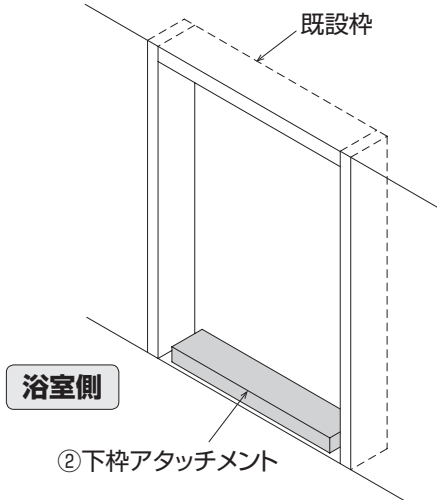
- たて枠アタッチメントに、スペーサーを貼り付けてください。



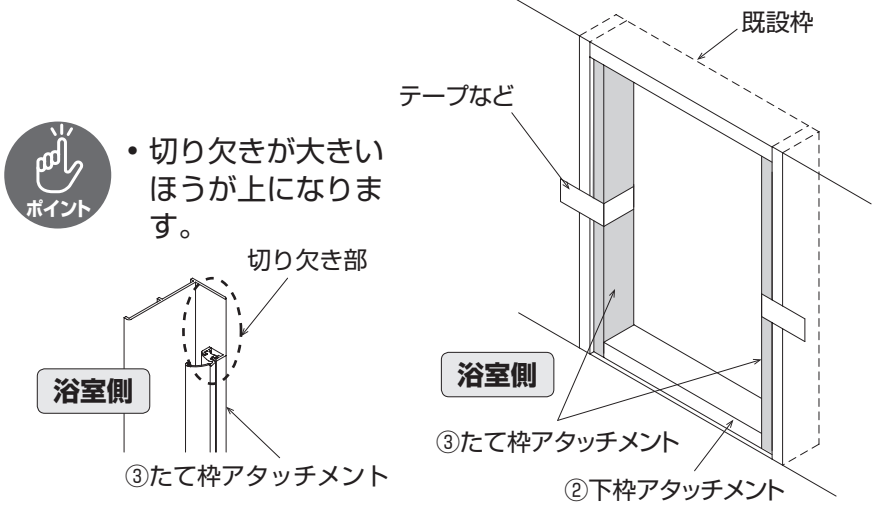
(単位：mm)

アタッチメントの仮固定

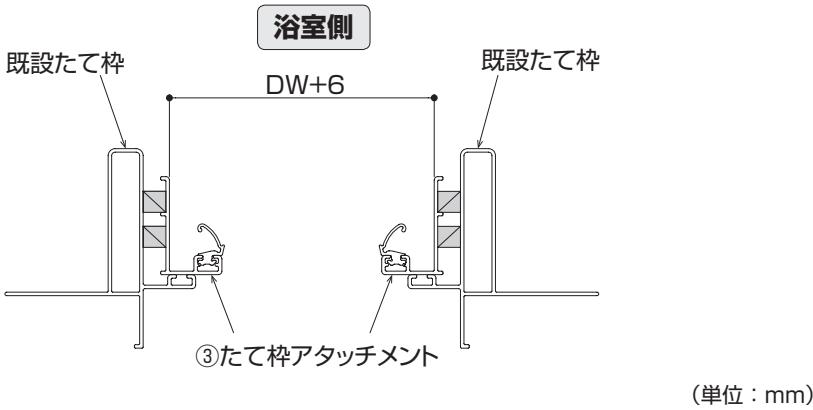
- 下枠アタッチメントを既設枠に仮固定してください。



- たて枠アタッチメントを下枠アタッチメントとすき間がないように既設枠に仮固定してください。

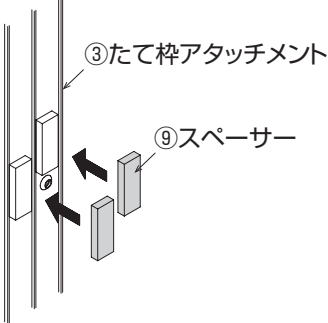


- たて枠アタッチメント間の寸法位置を調整してください。

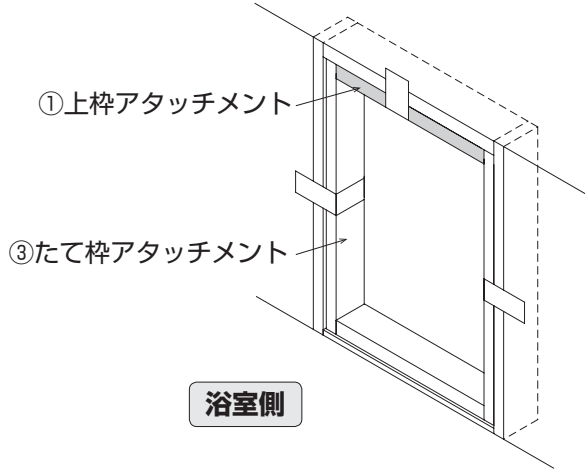


(単位：mm)

- 規定寸法を超える場合は、たて枠アタッチメントを一旦はずし、必要箇所にスペーサーを追加してください。



- 上枠アタッチメントを、たて枠アタッチメントとすき間がないように、既設枠に仮固定してください。



浴室側

6. 上下枠アタッチメント間の寸法位置を調整してください。

⚠ 注意

上下枠アタッチメントのレール間寸法を3箇所確認してください。
レール間=DH+11(±2)を超える場合、障子脱落のおそれがあります。

レール間=DH+11

(単位：mm)

7. 規定寸法を超える場合は、上枠アタッチメントを一旦はずし、必要箇所にスペーサーを追加してください。

Check

荷重を受ける箇所のため、下枠アタッチメントにはスペーサーを追加せず、上枠アタッチメントで調整してください。

8. 上下左右のアタッチメント間および上下左右のAT材間にすき間がないことを確認してください。

9. 設置した新設枠の取り付け寸法が、枠の取り付け精度の寸法（－2－参照）になるようスペーサーで調整してください。

ご注意

上枠アタッチメントのレール部分が、手で押してもたわまないことを確認してください。障子を開閉した際、上部ラッチがかからなくなるおそれがあります。

押す

上枠アタッチメントのレール

取り付け穴位置のけがき

1. アタッチメントのねじ穴位置から既設枠に、けがきをいれてください。

2. 上下枠アタッチメント、たて枠アタッチメントを取りはずしてください。

アタッチメント枠の取り付け

お願い

アタッチメントのAT材が傷付くおそれがありますのでアタッチメントを一旦取りはずしてから下穴加工してください。

Check

枠の見付け部の本固定は、必ずシーリングを併用してねじで締め付けてください。
ねじで締め付け後、はみ出したシーリング材はきれいに拭き取ってください。

電動ドライバーで最後までねじを締めないでください。枠がへこまないように、最後はドライバーで手回しで締めてください。

⑦皿タッピンねじ (φ4×16)

電動ドライバー

ドライバー

ドリルと水密材が接触しないように、指で水密材を押さえながらねじで固定してください。

水密材

ドリル

1. 既設枠へけがいた位置に、ドリルでφ3～3.4の下穴をあけてください。

ご注意

穴が躯体まで貫通しないようにしてください。
漏水のおそれがあります。

-7-

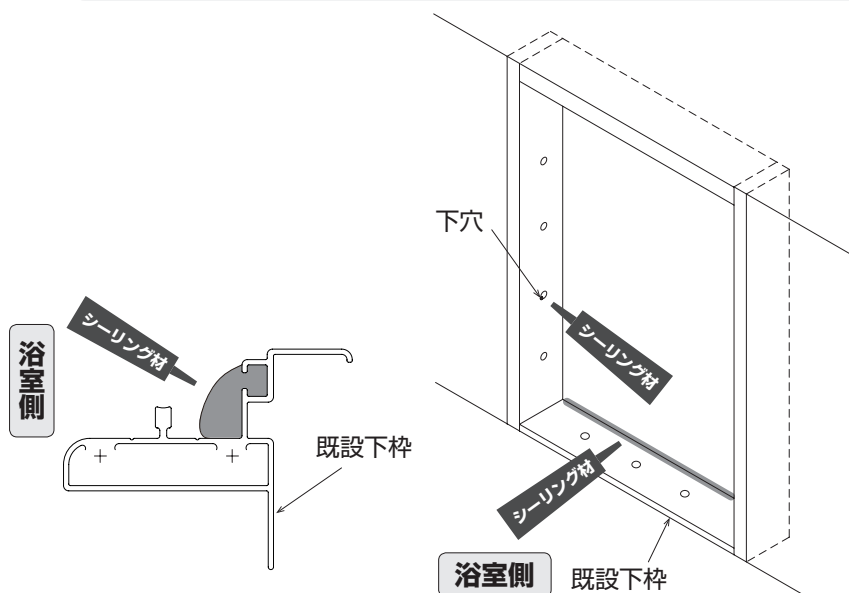
-8-

アタッチメント枠の取り付け (つづき)

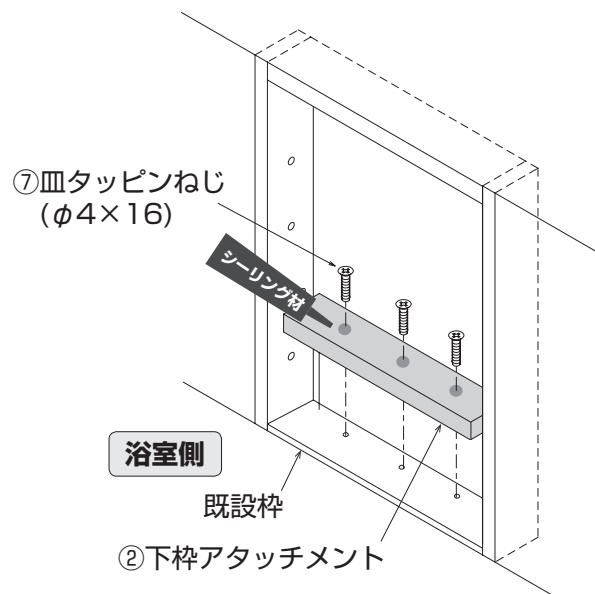
2. 下穴・既設下枠にシーリング材を充てんしてください。



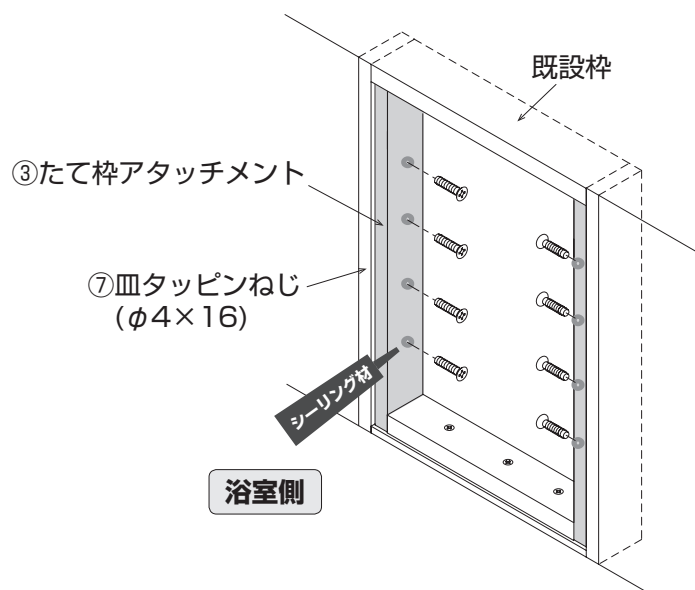
- 水漏れの原因となりますので、必ず、既設下枠にシーリング作業をしてください。



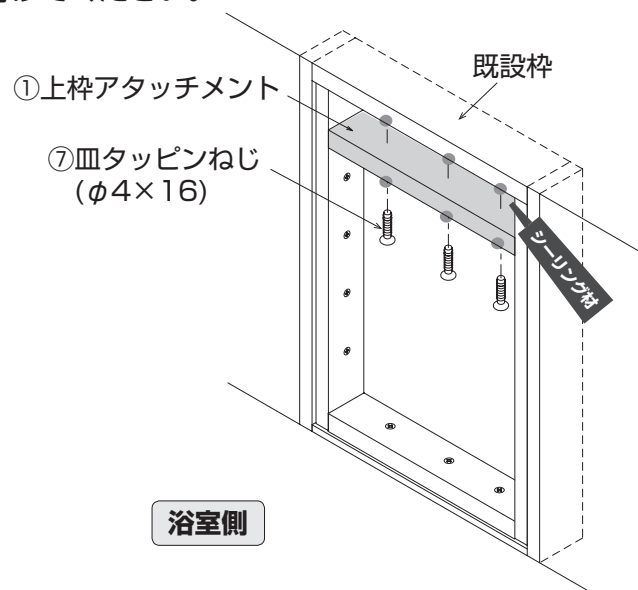
3. 下枠アタッチメントのねじ穴にシーリング材を充てんし、既設枠に取り付けてください。



4. たて枠アタッチメントのねじ穴にシーリング材を充てんし、既設枠に取り付けてください。



5. 上枠アタッチメントのねじ穴にシーリング材を充てんし、上枠アタッチメントを取り付けてください。

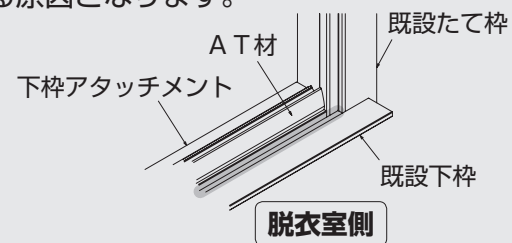


6. はみ出したシーリング材をきれいに拭き取ってください。

シーリング



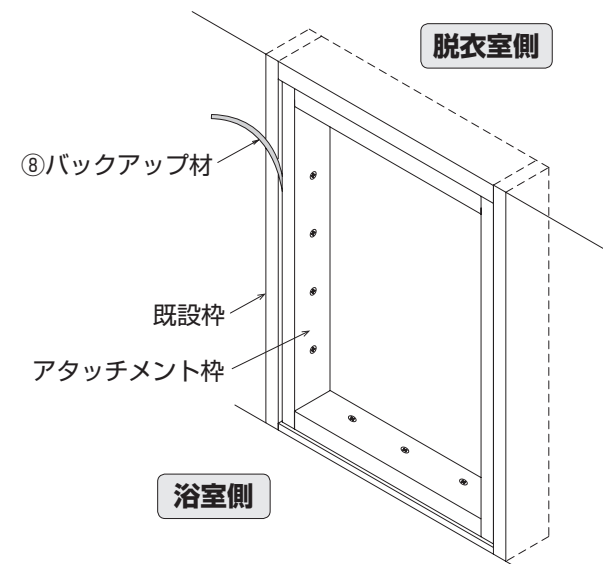
- シーリング材をAT材に付けないでください。AT材が切れる原因となります。



- ヘラなどを使用して浴室側・脱衣室側の既設枠と、アタッチメント枠間の四方枠のすべてにシーリングをしてください。シーリング作業を適切に行わないと漏水の原因となります。

1. 枠のねじれ、対角ずれ、ハラミ、つづみのないことを確認してください。(→2参照)

2. 既設枠とアタッチメント枠間に、バックアップ材を入れてください。

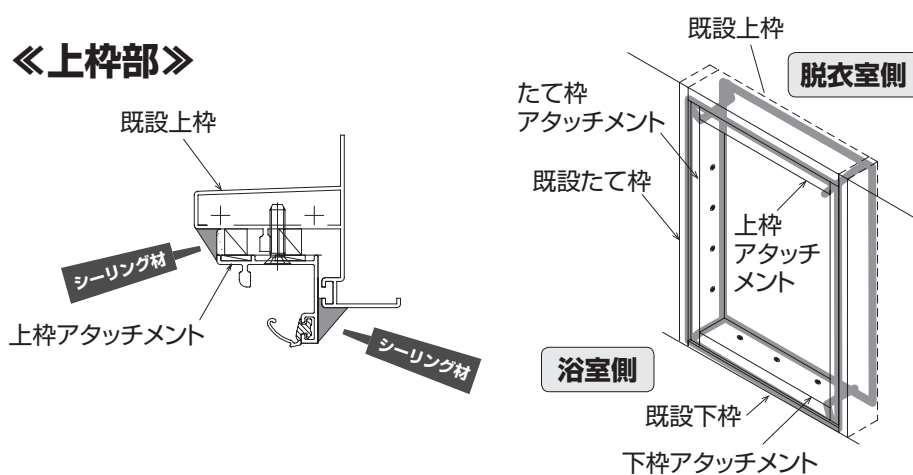


3. 浴室側と脱衣室側の既設枠とアタッチメント枠間に、シーリングをしてください。

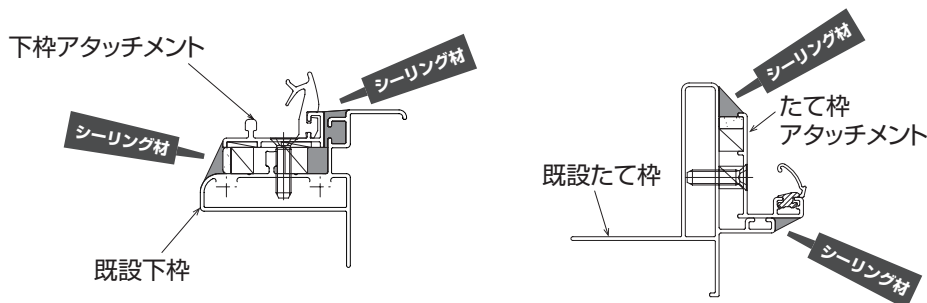


- たて枠下部は、すき間なくシーリングしてください。
- 排水のため、下枠両端部50mmの位置から30mmすき間をあげシーリングをしてください。

《上枠部》

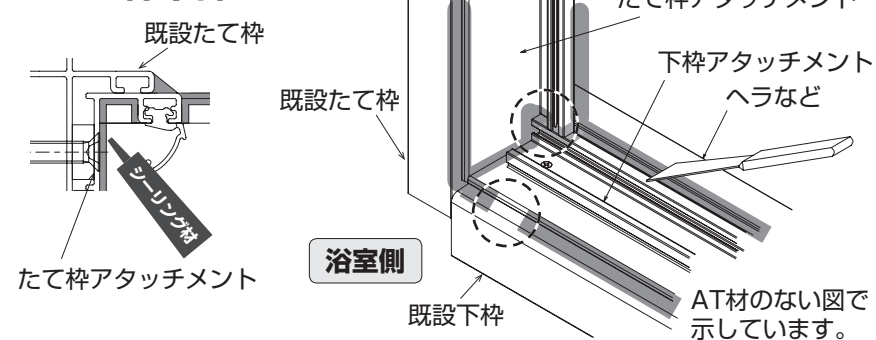


《下枠部》

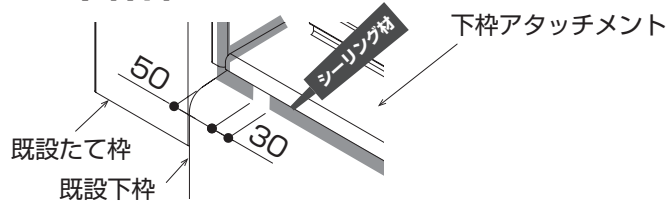


《たて枠部》

《たて枠下部》



《下枠部》

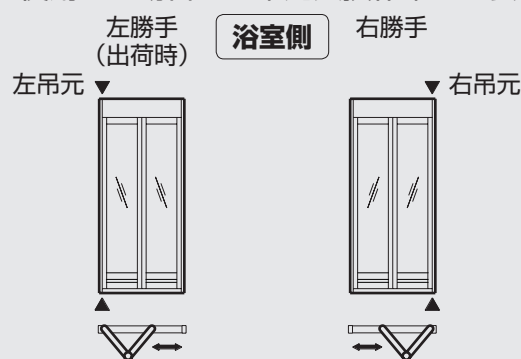


(単位：mm)

障子の吊元交換（右吊元で使用する場合）



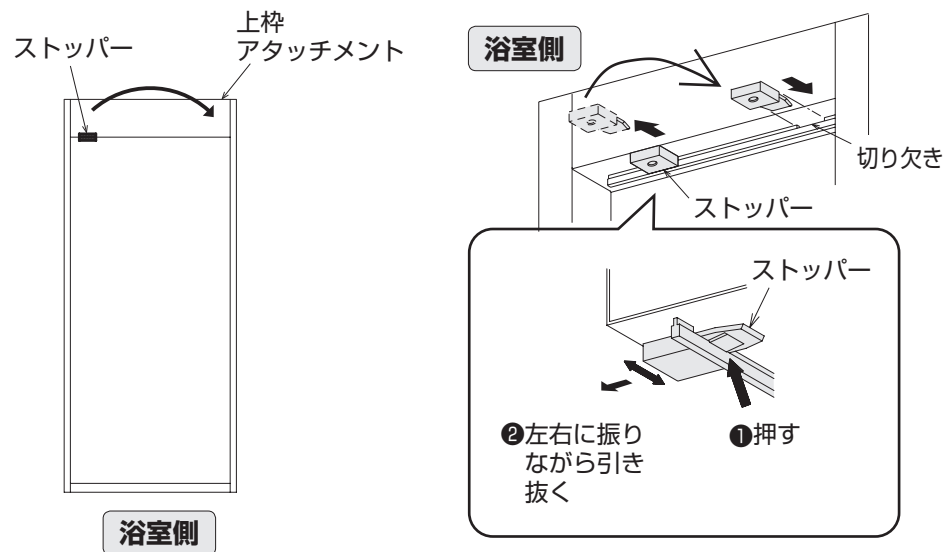
- 商品出荷時には、浴室側から見て障子は左吊元になっています。右吊元で使用する場合は、吊元交換作業が必要となります。



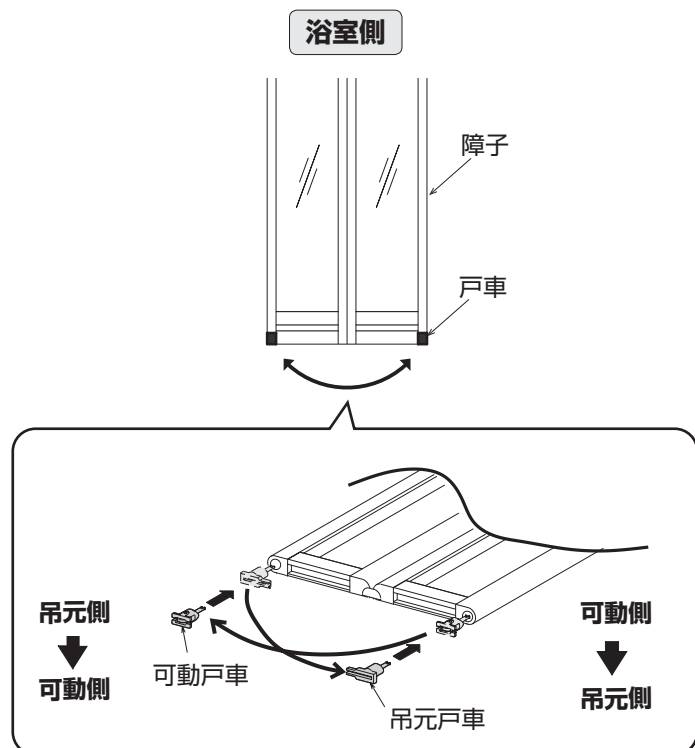
- 上枠アタッチメントのストッパーを取りはずし、反対側の切り欠きに取り付けてください。

注意

- ストッパーが取り付けられていることを確認してください。取り付けがないと障子がはずれるおそれがあります。

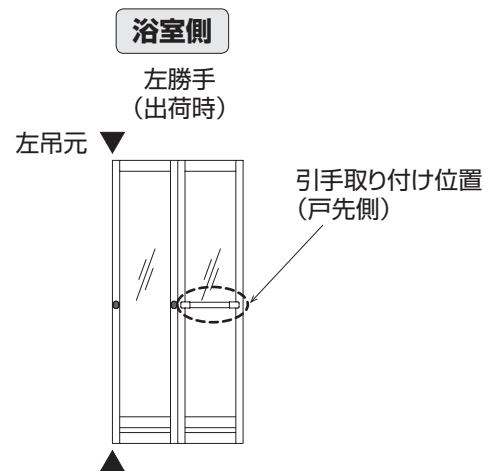


- 障子下部の戸車を引き抜き、吊元側と可動側の差し替えをしてください。

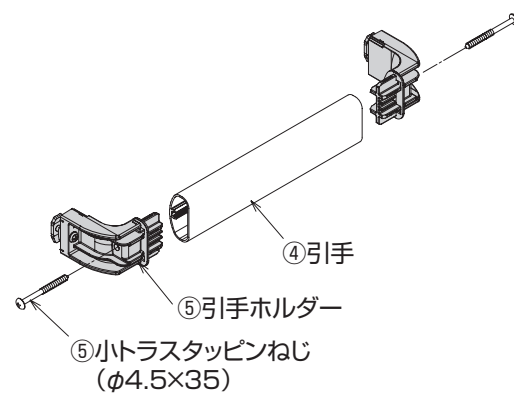


浴室側引手の取り付け

- 引手の勝手を確認してください。

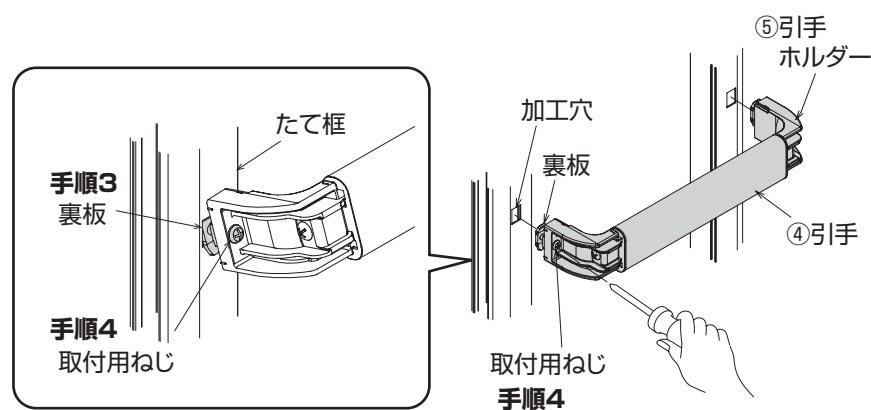


- ホルダーを引手にねじで取り付けてください。

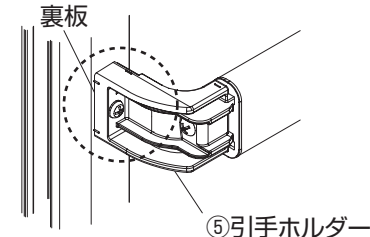


- 裏板をたて枠の加工穴に入れてください。

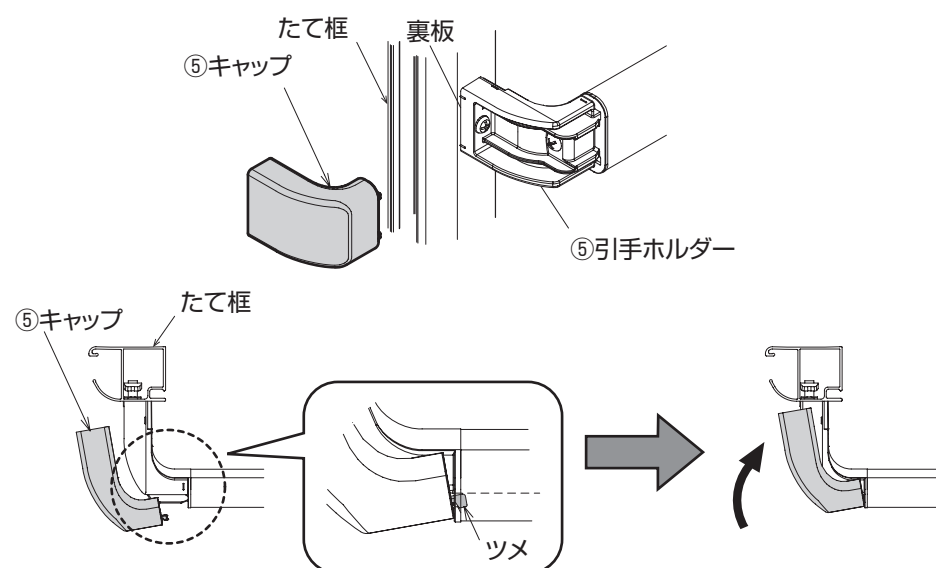
- 引手全体を軽く手前に引きながらねじを締め付けてください。



- ホルダーと裏板にすき間やガタつきがないことを確認してください。

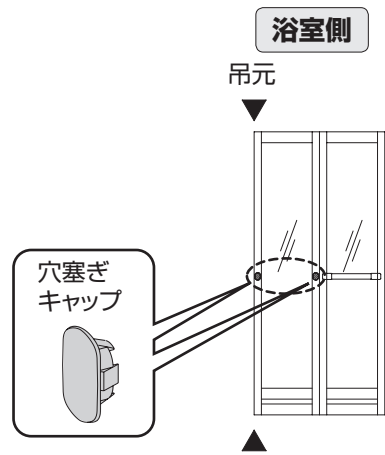


- キャップのツメをホルダーに挿入し、ひっかけた状態でたて枠側を押し込んでください。



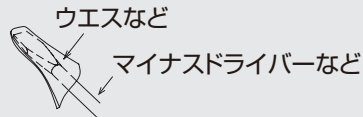
浴室側引手の取り付け (つづき)

7. 吊元側のたて框に、穴塞ぎキャップを取り付けてください

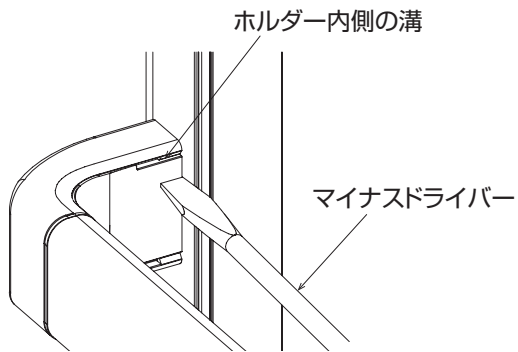


浴室側引手の取り付け後にキャップを取りはずす場合

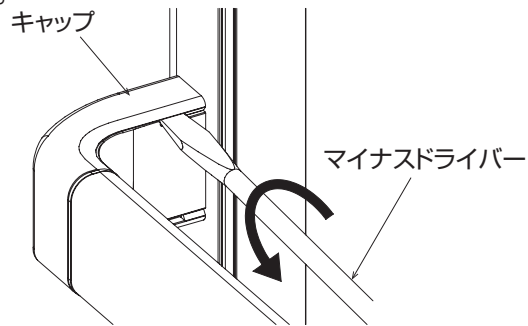
Check マイナスドライバーなどの先端にウエスなどを巻き、部品にキズをつけないようにしてください。



1. ホルダー内側の溝にマイナスドライバーなどを差し込んでください。



2. キャップの根元側を広げるように、マイナスドライバーなどを回転させてください。

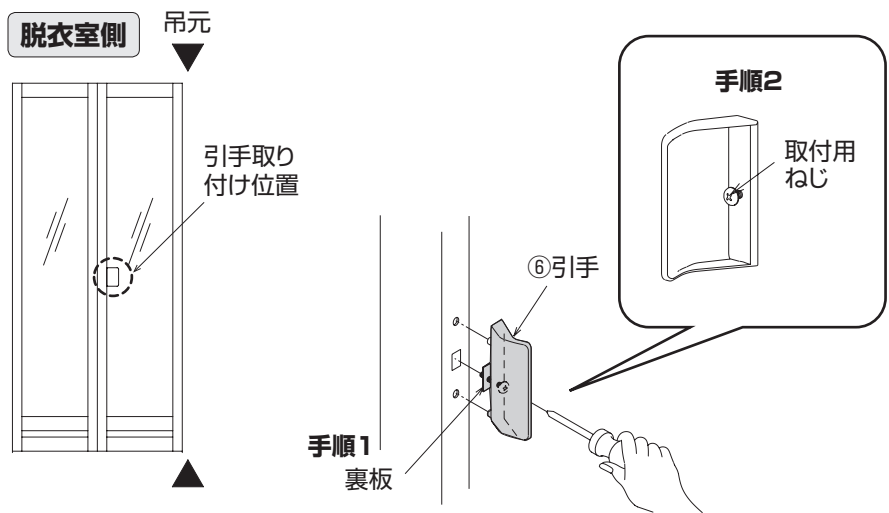


3. 同様に下側も取りはずしてください。

脱衣室側引手の取り付け



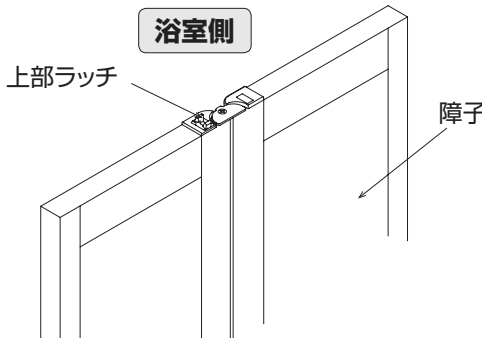
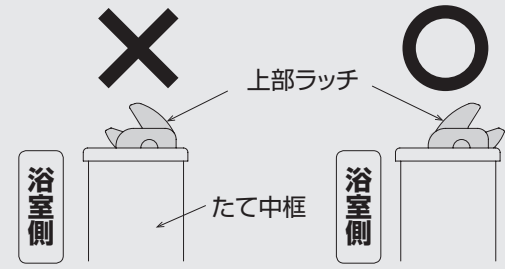
1. 浴室側の引手と同様に、裏板をたて中框の加工穴に入れてください。
2. 引手全体を軽く手前に引きながら、取付用ねじを締め付けてください。



障子の吊込み

1. 上部ラッチの向きを確認し、上部ラッチ（ツメ部分）が浴室側へ向いている場合は、脱衣室側へ向きを直してください。

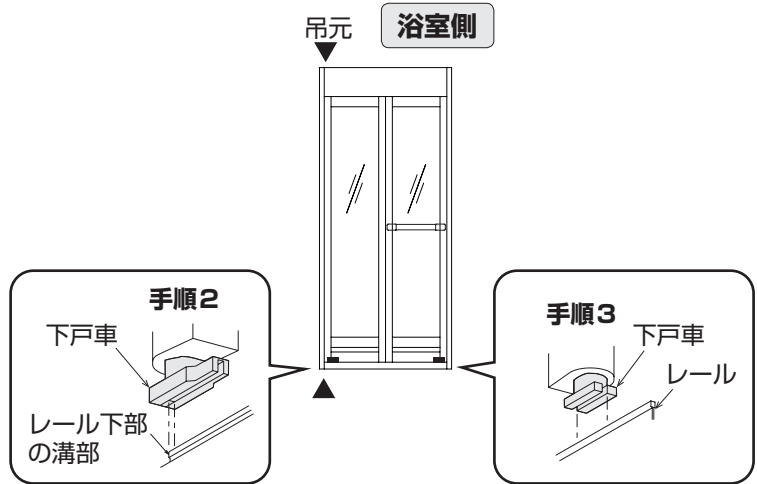
ご注意 上部ラッチ（ツメ部分）が浴室側へ向いたまま使用すると、障子が閉まりきらない場合があります。



2. 吊元側の下戸車を下枠アタッチメントのレール溝部にはめ込み、下戸車が確実にレールにかかっていることを確認してください。

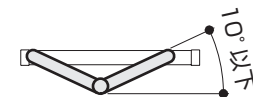
3. 可動側の下戸車を下枠アタッチメントのレールにはめ込んでください。

ご注意 障子の吊り込みは、上下の戸車を正しくセットしてください。障子のはずれるおそれがあります。



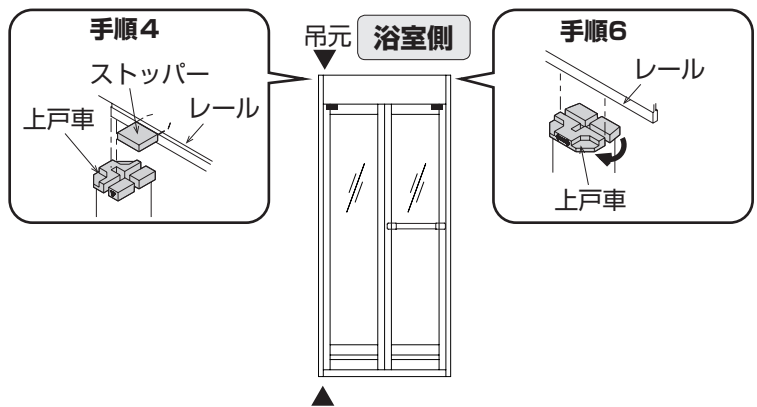
4. 吊元側の上戸車をレール端部のストッパー内にはめ込み、上戸車が確実にレールにかかっていることを確認してください。

5. 障子を10° 以下に開いた状態にしてください。

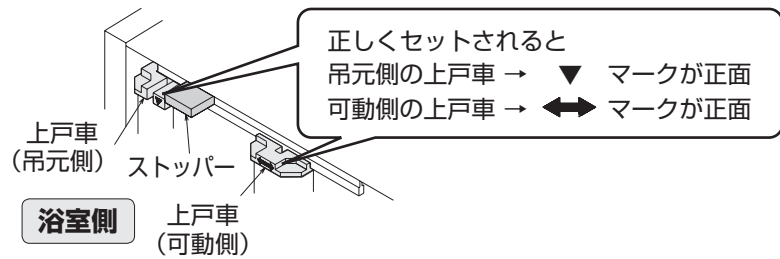


6. 可動側の上戸車を回転させ、レールにはめ込んでください

ご注意 上戸車を90° 回転させることで、吊元側と可動側の使い分けができます。はめ込む際には向きに注意してください。



7. 浴室側から上戸車の向きを確認してください。

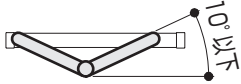


8. 障子の開閉確認をしてください。



• 補助的な調整のため、設置のくるいをカバーするものではありません。

1. 障子を10° 以下に開いた状態にしてください。



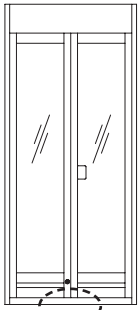
2. キャップをあけ調整ねじをゆるめてください。

3. 下部ラッチとレールのかかり代を調整してください。

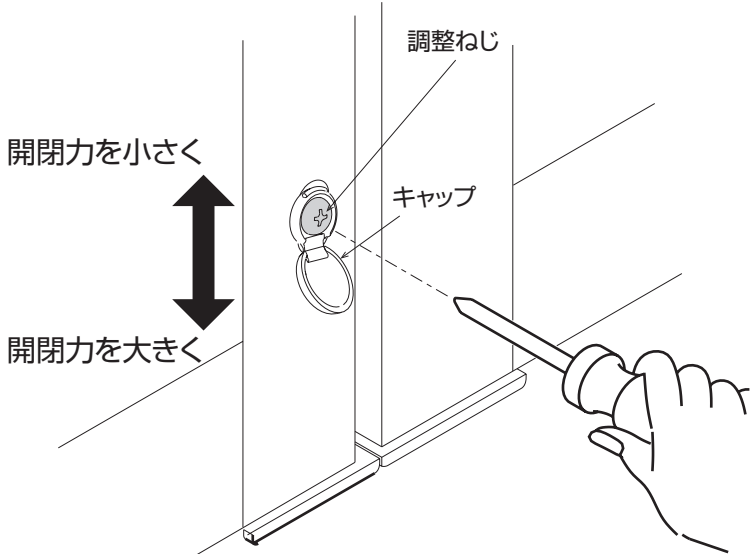


- レールとのかかり代が大きすぎると開閉が重くなります。開閉が重い場合は、再度調整してください。
- 障子を開いた状態で下部ラッチの調整を行ってください。

脱衣室側

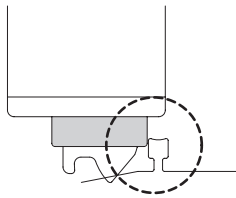
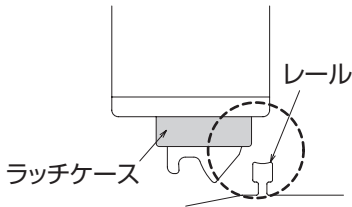


下部ラッチ



開閉が重い場合 ⇒ ねじ位置を上部へ
開閉が軽い場合 ⇒ ねじ位置を下部へ

4. 開閉に支障が出ないように、ラッチケースがレールに干渉しないことを確認してください。



5. ゆるめた調整ねじを締め付け、キャップを閉じてください。